

令和3年度 第12回天竜区協議会

次 第

日時：令和4年3月24日（木）

午後2時00分から

会場：天竜区役所 21・22 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

(1) 協議事項

ア 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）のパブリック・コメント実施について【資料1】

イ 令和4年度地域力向上事業
「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について【資料2】

(2) その他

地域課題

5 その他

次回開催予定

日時 令和4年4月27日（水）午後2時

会場 天竜区役所 21・22 会議室

6 閉 会

第 9 号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）の パブリック・コメント実施について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>○目的 デジタルを活用したまちづくりの推進に関する基本原則及び基本的な事項を定め、市の責務及び市民等の役割を明らかにすることによって、市民生活の質の向上や都市の最適化を図り、すべての市民が安全・安心で幸せに暮らし続けることができる持続可能な都市を築くことを目的とする。</p> <p>○背景 ・人口減少・少子高齢化社会の到来をはじめ社会課題が深刻化し、まちづくりに新たな視点や変革が求められている。 ・本市は令和元年に「デジタルファースト宣言」を行い、令和3年3月に「浜松市デジタル・スマートシティ構想」を策定。デジタルの力を活用したまちづくりに関する取組を推進している。 ・令和3年9月には「デジタル社会形成基本法」が施行され、デジタル社会の形成に関する基本理念や、国、地方公共団体及び事業者の責務が規定された。</p> <p>○制定にあたり検討した事項 本市のこれまでの取組及び国の法律・動向を整理し、条例案を検討した。</p>				
対象の区協議会	全区協議会				
内 容	<p>浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）のパブリック・コメント実施について概要を説明するとともに、ご意見を伺うもの。</p> <p>○条例案のポイント (1) デジタルを活用したまちづくりの推進に関する基本原則を定める (2) 市の責務及び市民等（市民や事業者）の役割を明らかにする (3) 施策を総合的かつ計画的に実施するための基本指針等の策定等について定める (4) 推進体制の整備について規定する</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	案の公表、意見募集	令和4年3月15日～4月14日			
	市の考え方公表時期	令和4年5月 予定			
	実施時期または施行時期	令和4年7月1日 予定			
担当課	デジタル・スマートシティ 推進事業本部	担当者	三岡 由莉	電話	457-2454

令和4年度 地域力向上事業

市民提案による住みよい地域づくり助成事業
(当初募集分)

事業提案書

令和4年3月24日

天竜区協議会

令和4年度 地域力向上事業
「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

No.	事業名	提案者 (担当課)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	行政推進会議意見（実施要綱の該当要件）		採用の可否	補助限度額（円）	

1	「第7回森林のまち童話大賞」 ミュージカル創作体験事業	「龍水の都」文化 体験プログラム 実行委員会 (まちづくり 推進課)	新規 50%以内	1,376,310	688,000
	「森林のまち童話大賞」の趣旨に沿って、区の資源である森林の大切さや恵みを文化・芸術（ミュージカル創作体験）によって子どもたちに伝え、人が自然共生する社会の実現、森林や林業への関心を高める。		「第7回森林のまち童話大賞」大賞受賞作品をモチーフとしたミュージカルの創作体験および公開リハーサルを子どもたちが行う。 【4月3日（日）～10月2日（日）】 ミュージカル創作体験 【10月2日（日）】 公開リハーサル（天竜壬生ホール）		
	【実施要綱第3条（4）に該当】 1. 提案団体は、地域の歴史や自然・文化に着目したミュージカル活動を通して、子供たちの豊かな人格形成、郷土の歴史や文化の継承に寄与しており、実績も十分である。 2. 提案事業は、「森林のまち童話大賞」大賞受賞作品をモチーフとしてミュージカル作品を創作することにより、多くの人に森林の大切さや豊かな自然に恵まれた天竜区をPRすることが期待できる。		採用が適当である		688,000

No.	事業名	提案者 (担当課)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	行政推進会議意見 (実施要綱の該当要件)		採用の可否	補助限度額 (円)	

2	くんまの里 インスタレーション	リトルベアー・ア ートプロジェクト (区振興課)	新規 50%以内	1,918,000	938,000
	熊地域において、地域資源や古民家を活用したア ート展 (インスタレーション) を開催し作品の制作や 展示を通して地域内外との交流の場を創出する。		天竜区熊の「古民家」、「風景」、「暮らし」、 「歴史」をテーマとしたアート展 (インスタ レーション) を開催する。 【3月】 地区への説明等 【4月1日 (金) ~ 7日 (木)】 準備・制作期間 【4月8日 (金) ~ 10日 (日)】 インスタレーション開催 夏 (7月ごろ)、冬 (11月ごろ) には、各1回 創作体験ワークショップを実施。		
	【実施要綱第3条 (1)、(6) に該当】 1. 本事業は、現代アートの持つ創造性を活かし て地域の持つ資源を活用することにより、地 域の魅力を引き出し、新たな価値を創造する アートによる地域づくりのきっかけとなるこ とが期待される。 2. 本事業は、作品制作や展示を通して地域住民 と都市部住民の交流のきっかけをつくること が期待できる。		採用が適当である		959,000



令和4年1月31日

(あて先) 浜松市長

所在地 浜松市天竜区

団体の名称 「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会

代表者氏名 大角 夫美子

連絡先 Tel 053-

次のとおり、事業を提案します。

事業名	「第7回森林のまち童話大賞」ミュージカル創作体験事業
実施時期	令和4年4月3日(日)～令和4年10月2日(日)
実施場所	天竜壬生ホール及び光明ふれあいセンター
概算事業費	1,376,310円
参加予定人数	参加者:70名程度 入場者200人(コロナ対策のため)
事業の目的	浜松市では、次の世代を担う子どもたちに、森林の大切さを伝えるとともに、豊かな自然に恵まれた浜松市天竜区をPRするため、「森林のまち童話大賞」を実施している。 当事業は、「森林のまち童話大賞」の趣旨に沿って、天竜区の地域資源である森林の大切さや恵みを文化・芸術とともに多くの子どもたちに伝え、人が自然と共生する社会の実現、森林や林業への関心を深めることを目的とする。
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	令和3年度、「第7回森林のまち童話大賞」が公募を行なわれ全国各地から作品の応募があり、大賞並びに入賞受賞者が決定された。 本年度は、「第7回森林のまち童話大賞」大賞受賞作品をモチーフとしたミュージカルの創作体験及び公開リハーサルを天竜区の子どもたちが行うものである。 今後、天竜区の森林の大切さや自然環境の魅力をPRするため、創作したミュージカルは動画配信や公演会にて多くの人に情報発信していく。 ■スケジュール 創作体験:令和4年4月3日(日)～令和4年10月2日(日) 公開リハーサル:令和4年10月2日(日) 場所:天竜壬生ホール
事業効果	・童話をミュージカル仕立てにすることにより、より感覚的に多くの子どもたちに、森林の大切さや恵を伝えることができる。 ・創作したミュージカルは、森林や自然環境の大切さを訴える色々なイベントで活用できる。(団体の概要書>活動内容(後段)を参照) ・木材の活用もテーマにしたミュージカルをソーシャルメディア等で情報発信することにより、森林や林業のあり方を多くの人に提言できる。 ・ミュージカル創作体験から学んだことを、未来を担う子どもたちが今後の地域活動に活かすことができる。
備考	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会は、平成29年3月24日、地域で優れた芸術・文化を支援したとして、公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団から「第7回ふるさと貢献賞」を受賞しました。

裏面に続く

収支予算書

1 収入の部

単位:円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	688,000	地域力向上事業 (市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
自己負担金	688,310	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会
計	1,376,310	

2 支出の部

単位:円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費	690,494	◆司会料 (公開リハーサル) @22,274円×1人×1日= 22,274円 ◆創作指導料 @22,274円×1人×12日= 267,288円: ミュージカル ・演技・歌唱指導 @22,274円×1人×12日= 267,288円: 楽曲 ・作曲・編曲 @11,137円×1人×12日= 133,644円: ダンス ・演技・振付
需用費	90,200	◆教材費 @550円×35人×2稿 = 38,500円: ミュージカル ・脚本等 @550円×35人×2稿 = 38,500円: 楽曲 ・譜面等 @220円×30人×2稿 = 13,200円: ダンス ・振付絵コンテ等
委託料	352,596	◆舞台製作費 一式 (別紙見積書) 330,000円 ◆駐車場委託料 @913円×7.5h×3人×1.1 = 22,596円
使用料及び賃借料	243,020	◆施設使用料 ・壬生ホール施設使用料: 64,960円 (10月1.2日) ・壬生ホール附帯設備費: 60,000円 (10月1.2日) ・壬生ホール・光明ふれあいセンター使用料: 96,060円 【内訳】 ・壬生ホール (@ 330円×7.0h×6回 = 13,860円): ミュージカル (@ 520円× ×6回 = 3,120円): ミュージカル (@ 410円×3.0h×6回 = 7,380円): ダンス ・光明ふれあいセンター (@ 940円×7.0h×6回 = 39,480円): ミュージカル (@1,790円×3.0h×6回 = 32,220円): ダンス ◆機材等使用料:22,000円 @ 22,000円×1式 = 22,000円: 映像機材
計	1,376,310	

団体の概要書

団体名	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会			
事務所の所在地	〒431- 浜松市天竜区 (専用事務所 ・ 住居兼用 ・ その他)			
	電 話	 	F A X	
	ホームページ			
代表者氏名	大角 夫美子			
担当者連絡先	氏 名	大角 夫美子		
	電 話	 		
	F A X			
	Eメール	 		
設立年月日	平成 14 年 7 月 22 日			
会員数	98 名 (令和 4 年 1 月 1 日現在) ※出演団員 65 名含む			
団体の目的	地域の特色と人材を活かした数々のミュージカルを市民協働により創作・発表をして、子どもたちの豊かな心の形成に努めるとともに、自然と人間の共生、生命の重さ、夢を抱くことの素晴らしさ、ものづくりの大切さ、故郷や家族のありがたさ等を伝えることを目的とする。(「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会規定より)			
活 動 概 要	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会は、今年7月で20年目を迎えます。地域の特色を活かした数々のミュージカルを市民協働により創作し、平成15年度から令和3年度までに49公演を実施した。これからも、次世代を担う子どもたちに社会に必要な、創造的思考力、コミュニケーション能力などの育成や豊かな心の形成づくりに努めるとともに人が自然と共生する社会の実現、森林や林業への関心を深める活動等をしていきます。			
受 賞 歴	平成23年度に、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会は、子ども・若者を育成支援する活動等に取り組み顕著な功績があったとして、内閣府から「チャイルド・ユースサポート章」を受章、平成25年度に、地域で優れた文化活動を行っているとして公益財団法人静岡県文化財団から「第27回地域文化活動賞」を受賞、平成29年度に、地域で優れた芸術・文化を支援したとして、公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団から「第7回ふるさと貢献賞」を受賞した。 また、指導者は、平成23年度に、ミュージカルの指導者として、「浜松市教育文化奨励賞」を受賞した。			

年度	活動内容(予定)
平成 15 (2003)	♪ミュージカル「机のなかの竜の森」創作 ①平成15年11月/ミュージカル「机のなかの竜の森」プレ公演(壬生H)
平成 16 (2004)	♪ミュージカル「机のなかの竜の森」創作(完結編) ②平成16年7月/ミュージカル「机のなかの竜の森」浜名湖花博公演(水辺の劇場) ③平成16年12月/ミュージカル「机のなかの竜の森」公演(壬生H)
平成 17 (2005)	♪ミュージカル「本田宗一郎物語」創作 ④平成17年11月/ミュージカル「本田宗一郎物語」プレ公演(壬生H)
平成 18 (2006)	♪ミュージカル「本田宗一郎物語」創作(完結編) ⑤平成18年11月/本田宗一郎生誕100年記念事業・ミュージカル「本田宗一郎物語」公演(壬生H) ※故本田宗一郎氏の妻、「本田さち」さん来場、アンモも参戦
平成 19 (2007)	♪ミュージカル「秋野不矩物語」創作 ⑥平成19年7月/本田宗一郎生誕100年記念 別府公演(B-CON PLAZA)※ホンダ太陽樹 ほか視察 ⑦平成20年2月/ミュージカル「秋野不矩物語」プレ公演(壬生H)
平成 20 (2008)	♪ミュージカル「秋野不矩物語」創作(完結編) ⑧平成20年7月/秋野不矩画伯生誕100年記念事業・ミュージカル「秋野不矩物語」公演(壬生H) ※故秋野不矩画伯の次男「秋野亥左衛門」さん来場 ⑨平成20年9月/本田宗一郎生誕記念 埼玉公演(川越市市民会館)※ホンダ TC 関東 ほか視察 ⑩平成21年2月/ミュージカル「秋野不矩物語」本公演(壬生H)
平成 21 (2009)	♪ミュージカル「森のてんぐ屋さん」創作 ⑪平成21年8月/本田宗一郎生誕記念 大阪公演(狭山市文化会館)※ホンダ TC 関西 ほか視察 ⑫平成21年10月/「第3回 森林のまち童話大賞」表彰式・記念公演※「森のてんぐ屋さん」公演(壬生H) ⑬平成21年11月/浜松モザイクカルチャー世界博2009※フィナーレ公演に「森のてんぐ屋さん」(フラワーP) ⑭平成22年2月/「都市(マ)×森林(モ)＝∞(無限大)」シンポジウム※「森のてんぐ屋さん」(壬生H) ⑮平成22年2月/「はままつの森林を次世代へ」佐久間公演※「森のてんぐ屋さん」公演(歴史館)
平成 22 (2010)	⑯平成22年5月/本田宗一郎ものづくり伝承館オープン記念公演「本田宗一郎物語」公演 ⑰「第3回 国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」※「森のてんぐ屋さん」公演(アクト)
平成 23 (2011)	♪ミュージカル「かっぱの総理大臣」創作 ⑱平成23年7月/市制100周年記念・ミュージカル「秋野不矩物語」公演(壬生H) ⑲平成23年10月/ミュージカル「森のてんぐ屋さん」静岡公演※静岡県行政書士会60周年事業(静岡市) ⑳平成23年11月/ミュージカル「本田宗一郎物語」※没後20年追悼公演(壬生H)
平成 24 (2012)	♪ミュージカル「かさこそ森の気取りやキツネ」創作 ㉑平成24年6月/美林天竜・森と川を守るキャンペーン※「かっぱの総理大臣」公演(龍山森林) ㉒平成24年10月/「第4回 森林のまち童話大賞」表彰式・記念公演※「かさこそ森の気取りやキツネ」 ㉓平成25年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)
平成 25 (2013)	㉔平成25年9月/美林天竜・森と川を守るキャンペーン※「かっぱの総理大臣」公演(壬生H) ㉕平成25年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)
平成 26 (2014)	㉖平成26年6月/浜名湖花博10周年記念事業・第31回全国都市緑化しずおかフェア(水辺の劇場) 美林天竜・森と川を守るキャンペーン ※フィナーレ公演にミュージカル「かっぱの総理大臣」公演 ㉗平成26年11月/「ぶち・ミュージカル」～夢・人 未来へツナグ～※アピタ浜北店プレ業コート ㉘平成26年11月/「本田宗一郎物語」公演(浜北文化センター) ㉙平成27年2月/「秋野不矩を語る」※秋野不矩美術館展示室にて「秋野不矩物語」公演
平成 27	♪ミュージカル「森のたね」創作 ㉚平成27年10月/「第5回 森林のまち童話大賞」表彰式・記念公演※「森のたね」公演(壬生H)

(2015)	<p>⑳平成27年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)</p> <p>㉑平成27年11月/「芸術・文化で人づくり、そして未来へツナグ事業(演技編)」 ※うわさのトリオによる指導</p>
平成 28 (2016)	<p>㉒平成28年5月/「芸術・文化で人づくり、そして未来へツナグ事業(演技編)」 ※うわさのトリオとの共演</p> <p>㉓平成28年11月/「地域力・文化力融合による交流人口拡大事業」※文化力で地域課題に挑む(道の駅)</p> <p>㉔平成28年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)</p> <p>㉕平成29年3月/「地域イベント・プログラム創作コンテスト」 ※地域課題解決プログラムの創作(壬生H)</p>
平成 29 (2017)	<p>㉖平成29年10月/秋野不矩画伯生誕110年プレ公演※「秋野不矩物語」公演(秋野不矩美術館)</p> <p>㉗平成29年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)</p> <p>㉘平成30年3月/「不思議な森林が壬生にやってくる!」※サウンドとアートのコラボレーション(壬生H)</p> <p>○平成30年3月/「ご当地PR大使育成事業」※森林・川の大切さを多くの人にPR(映像配信)</p> <p>【参考】YouTube <u>森のサイクル</u> <u>天竜区</u> <u>検索</u> 天竜川流域には、天竜美林に囲まれた豊かな森林があります。「森のサイクル」では、木を「植える、育てる、伐る、使う」の繰り返しで森林を守っていくことと歌っています。 <u>ふるさとの川よ</u> <u>天竜区</u> <u>検索</u> 天竜区には、平成の名水百選に選ばれた阿多古川をはじめ、気田川などの清流がたくさんあります。「ふるさとの川よ」では、すべての命をはぐくむ川の大切さを伝えていくことを歌っています。</p>
平成 30 (2018)	<p>♪ミュージカル「おばあさんの森」創作</p> <p>㉙平成30年10月/「第6回 森林のまち童話大賞」表彰式※過去の童話大賞楽曲をオムニバスで披</p> <p>㉚平成30年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)</p> <p>㉛平成31年3月/「ミュージカル「森林は未来への贈り物!」創作体験事業」(壬生H)</p>
令和 元 (2019)	<p>♪ミュージカル「おばあさんの森」創作(完結編)</p> <p>㉜令和元年9月/「第6回 森林まち童話大賞」記念公演※「おばあさんの森」公演(アクト)</p> <p>㉝令和元年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H)</p>
令和 2 (2020)	<p>※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一時休講</p> <p>㉞令和2年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H&Live 配信) https://youtu.be/Uiscfe4GAj4</p> <p>㉟令和3年3月/「天龍の翔〜」公演<予定>(壬生H&Live 配信)</p>
令和 3 (2021)	<p>㊱令和3年11月/「本田宗一郎物語」公演(壬生H&Live 配信)</p> <p>㊲令和3年11月/「秋野不矩物語」公演(秋野不矩美術館100万人達成記念)</p>

※浜松市天竜壬生ホール：壬生H

※ホンダテクニカルカレッジ：ホンダTC

※浜松フラワーパーク：フラワーP

※アクトシティ浜松：アクト

※龍山森林文化会館：龍山森林

※いっぶく処横川：道の駅

※佐久間歴史と民話の郷会館：歴史館

※静岡市民文化会館：静岡市

「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会規定

(趣旨)

第1条 この規定は、地域の特色と人材を活かした芸術普及事業等を推進し、将来を担う子どもたちの豊かな心の形成づくりと地域文化の振興をするため、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会（以下「実行委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(協議事項)

第2条 実行委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 芸術普及事業等の企画・推進に関すること。
- (2) 芸術普及事業等の事業評価に関すること。
- (3) その他実行委員会が必要と認めること。

(代表及び副代表)

第3条 実行委員会に代表及び副代表を置き、委員の互選により定める。

- 2 代表は、会務を総括する。
- 3 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 実行委員会の会議は、代表が召集し、代表が会議の議長となる。

- 2 実行委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第5条 実行委員会の庶務は、おいて処理するため、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会事務局を浜松市天竜区■■■■■■■■■■に置く。

(監査)

第6条 実行委員会の会計事務は、委員会の監事の監査を受ける。

(その他)

第7条 この規定に定めるものほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規定は、平成14年7月22日から施行する。

この規定は、平成17年7月1日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

この規定は、平成22年4月1日から施行する。

この規定は、平成27年6月1日から施行する。

この規定は、平成29年6月1日から施行する。

この規定は、令和元年6月1日から施行する。

この規定は、令和4年1月1日から施行する。

実行委員会構成員一覧表

	構成員氏名	役職等	備 考
1	大角 夫美子	実行委員長	代 表
2	生田 京子	副実行委員長	副 代 表
3	北内 かほる	実行委員	
4	藤森 三世	実行委員	
5	久保 なおこ	実行委員	
6	矢野 寿賀子	実行委員	
7	岡部 香余	実行委員	
8	平田 実千留	監 事	
9	鈴木 里枝	事務局長	

【組織】

役 員：9名 令和4年1月1日現在

(内訳 代表：1名 副代表：1名 実行委員：5名 監事：1名 事務局：1名)

会 員：98名 (子ども団員含む)

令和4年(月)3日

(あて先) 浜松市

所在地 浜松市天竜区

団体の名称 リトルベアー・アートプロジェクト

代表者役職・氏名

佐藤 利明



※署名の場合は押印不要

連絡先



次のとおり、事業を提案します。

事業名	くんまの里インスタレーション
実施時期	R4年4月1日(金) ~ R5年3月31日(金)
実施場所	天竜区
概算事業費	1,918,000 円
参加予定人数	団体20名、参加者合計530名
事業の目的	地域の特性を活かしたまちづくりを目的とし古民家再生と植物を活かしたアート展を開催し、美しい日本家屋に身を置き場の空気を体験することで内面にある我が心の本質と向き合い生活を見直す 生活改善及び生活環境の向上に繋がる。 (続き 別紙1 参照)
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	地域住民にも協力していただき作品制作や展示を作り上げるイベントにすることで、作品の制作をめぐる地域の美しさを再認識し、外部からのスタッフやボランティアとの交流を行い、地域コミュニティと文化的・アートの体験を通し生涯学習の振興に繋がる。(続き 別紙2 参照)
事業効果	新しい いのちが芽生えるインスタレーションづくりを行っています。地元の美しさ・日本の価値を再認識し、外部との出会いと交流の場作りで、区民意識の啓発に繋がりたいと思います。 (続き 別紙 3 参照)

裏面に続く

備 考	<p>・代表の佐藤 自身も8年ほど天竜区の物件を管理し、山での暮らしを経験し近隣でこの風景を地域外の方に展示、体験出来るような場所を探し、空き家を利用した活動を行っている 利修庵の青山さんと出会ったことで、今回の会場が決まり開催に向けて活動をはじめました。</p> <p>・東北の震災復興支援がご縁で知り合った愛知在住の華茶道家、内藤さんお招きして2005年から全国で開催しているインスタレーションを浜松で初開催頂けるよう、2019年から毎月「暮らしの歳時記」という手仕事教室を浜松で開催して頂き仲間作りをしてきました。（※他県のイベント風景と内藤さんのプロフィール 別紙参照）</p>
-----	---

<事業提案にあたっての確認事項>

提案を行う事業について、該当する□にチェックを入れてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 政治、宗教、選挙活動又は営利を目的とする事業ではありません。	
<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）、暴力団員等（同条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。）及び暴力団員等と密接な関係を有する者並びにこれらの者のいずれかが、団体の役員等（無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準じるべき者、支配人及び清算人をいう。）ではありません。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公序良俗に反する事業ではありません。	
■ 浜松市の他の補助金等の支援を受ける見込みは	<input checked="" type="checkbox"/> ありません <input type="checkbox"/> あります（補助金等名称： _____)
■ 国、他の地方公共団体又は浜松市の外郭団体から別に補助金等の公的支援を受ける見込みは	<input checked="" type="checkbox"/> ありません <input type="checkbox"/> あります（補助金等名称： _____)
<input checked="" type="checkbox"/> 施設整備など後年度に維持管理経費が生じる事業ではありません。	
■ 同様の提案を他区に行つて	<input checked="" type="checkbox"/> いません <input type="checkbox"/> います（提案を行った区： _____ 区 事業名称： _____)
■ 給与所得者を雇用する事業者ですか。 はい⇒ 市民税・県民税特別徴収義務者指定通知書を併せて提出してください。 <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	

第2号様式 (第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	938,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
チケット販売	980,000	チケット収入 前売り 2000×300=60万当日 2500×56=14万 夏,冬イベント 3000×40×2回=24万
計	1,918,000	

2 支出の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)	
報償費	470,000	※内訳 別紙 4 参照 (講師18、トーク5 タンス10、音楽8、撮影音響6)	
賃金	383,460	計5名×913×7h×12日	
旅費		謝礼に含む	
需用費	印刷	31,000	チラシ印刷
	製本	120,000	記録 フォトブック10冊(道の駅他に寄贈)
役務費	郵便	5,000	チラシ郵送費
	保険	5,000	イベント保険
	広告		
委託料	30,000	チラシデザイン料	
使用料及び賃借料	160,000	会場賃料(青山宅 利修庵、田中宅、駐車場)	
バス・タクシー	64,000	タクシー 一往復16,000×4回 西鹿島駅～道の駅水車の里	
原材料費	649,540	草花木、針金え、ピノ線、布、紐、古物	
計	1,918,000		

※収入及び支出の計が一致すること。

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	リトルベア－・アートプロジェクト		
事務所の所在地	〒431- [redacted] 浜松市天竜区 [redacted] (専用事務所 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 住居兼用 ・ その他 (店舗))		
	電 話	[redacted]	FAX
	ホームページ	http://hillman.jp (代表経営の別事業)	
代表者役職・氏名	佐藤利明		
担当者連絡先	氏 名	名波有紗	
	電 話	[redacted]	
	F A X		
	Eメール	[redacted]	
設立年月日	2021 12/1		
会員数	20名		
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人が繋がるきっかけを作る ・手仕事、体験を通じ 五感で感じるイベント作り ・自然・暮らし・食・文化・芸術 共有できる場作り ・その他、芸術を含めた様々な文化活動で過疎地の地域再生に取り組むことを目的に設立いたしました。 		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活に役立つワークショップ、和の暮らし歳時記教室 ・焼杉ワークショップ・アウトドアキャンプ&クッキングスクール・音楽会・能楽会・茶会ティーパーティー 		

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付（構成員名簿・規約等）

団体会員名簿

(○：活動日賃金発生のリーダー。△：リーダー不在の場合の代理)

- 1、佐藤利明 ○
- 2、名波有紗 ○
- 3、五名みか ○
- 4、丸山仁志 △
- 5、横井理恵子
- 6、近藤貴子 △
- 7、伊藤みどり
- 8、伊藤聖 ○
- 9、内山恭子
- 10、 大橋ひろえ △
- 11、 河合佳栄
- 12、 伊藤たかみ
- 13、 れいな
- 14、 あげはりあやこ △
- 15、 はた
- 16、 大場きみこ
- 17、 ともこ
- 18、 奥村 ○
- 19、 大谷草平 △
- 20、 藤井枝実

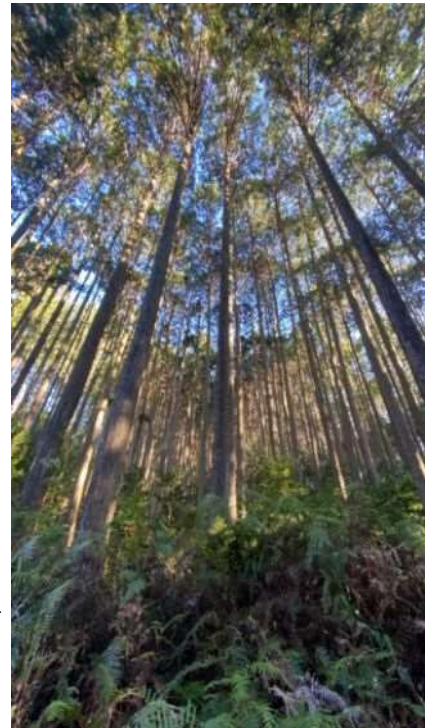
※ 浜松会員の一部です。単発で参加の準会員や、市街にも多数在籍しています

事業の目的（別紙 1）

わたしたちは、昨年12月に古民家などを活用し、
芸術を含めた様々な文化活動で過疎地の地域再生に取り組むことを目的に設立いたしました。

美しい『くんま』清流阿多古川、天竜美林の杉や 檜の森、ホタル、ギフチョウ、カタクリ、
山シャクヤク、遠州細葉シャクナゲなど 貴重な自然が残され、大切に守られています。くんまの美を発信
そんな想いで天竜区熊にある古民家「利修庵」「道の駅くんま水車の里」を舞台に
古民家インスタレーションを開催いたします。

様々な問題を抱える天竜区、高齢化に伴う空家の増加、
耕作放棄地の増大、害獣の被害、森林の荒廃、
若者の流出で人口の減少が著しい。
感染症の時代の中、都会暮らしに疑問を持ち、
より良い生活環境を求め田舎で、区明日い、
子育てをしたいなど移住し希望者の声も多く聞き、
すでに実践している方々も多く見受けられます。
日本の田舎の原風景を残し、
ありのままの地域資源の価値転換を図れば心豊かに暮らせるはずで



しかし過疎化が深刻に進み生活環境の悪化（離線バスの廃止、商店が無い、保育所が無い）などの状況は否せません、魅力を掘り起こし、アピールし、希望を持って地域の皆さんと一緒に工夫していけば、必ず地域の皆さんの地域への誇り高めて、地域がより光り始め元気になると考えます。

今回のプロジェクトをきっかけに、くんま及び天竜区のことを知っている人が増え、外部との交流が進めば、地域に訪れる人も今まで以上に増えると思います、地域の皆さんの郷土愛を更に深める事に繋がります 新たな切り口で、若い世代との交流と大切なご縁が重なり、小さな活動でもやり方次第でたくさんの人を呼ぶことができるという実績を積み上げることは、地元の方々にとっても自信につながる事ではと感じています。その先に地域再生に一番重要な移住者を増やすことにつながって行くと考えま

昨今のアウトドアブームなど中途半端ではない田舎だからこそ、問題解決の可能性を大いに秘めています。

インスタレーションとは・・・

室内や屋外などにオブジェや装置を置いて、作家の意向に沿って空間を構成し変化・異化させ、場所や空間全体を作品として体験させる芸術です。

現存の古い日本家屋が少なくなっている昨今、古い日本家屋の中に入り、空間や日本人の美意識の素晴らしさを感じ、体験をすることが非常に難しくなっています。これは、日本人としてとても悲しいことです。子供たちにとっては、尚更のことです。そこに草花を飾り、そこに人が集い「日本家屋」を体験していただきながら「日本家屋」「日本文化」「伝統行事」などから生じた、世界に誇れる「日本の美意識」を感じていただければ幸いに思います。

内藤満里子インスタレーション・・・

私達の展示会はみせるだけではなく、作品を共に作り上げる共同制作から新しい発見・出会いを生み出す “いのちのうつしかえ”をテーマにしています。天竜くんまの地の、「古民家」「風景」「暮らし」「歴史」と取り込んだ

アートイベントを行い、くんま ひいては天竜区の文化遺産、歴史風土の魅力情報の発信を行い、交流人口の増加と賑わいを創出します。

芸術や文化は 人々の勇気の源となり、精神面での健康にも繋がります。

結果的に生命維持に とても必要なものです。

特に過疎化が進んだ田舎には、芸術はとても効果が高いことは全国的な社会現象としても認識されています。



4月1日から1週間を準備期間とし、準備段階では 地域住民の方にも協力して頂き展示物の制作と準備を行いたいと思います。

協力していただくことで、他人 の作品がわたしたちの作品に変わります。

それ以前に、実際に自分の手に聞き考え動かす行為は、想像力や生きる力につながります。

暮らしを向上させるアイディアや色の魅力を発信するマーケットも開催します。地元湧く水での美味しさを体験するコーナーや喫茶ブースは全日。道の駅の蕎麦と農産物・特産物の販売も相まって来場者に喜んで頂きます。道の駅では、丹精込めて育てた農産物や特産品、土産物、天竜区の豊かな農産物や特産品他を購入が可能。



◆お手伝いしていただける方への声かけ

準備段階と撤収、当日の現場管理では地域住民にも協力して頂きます。

熊小学校生徒、 教員の方々、 くんま「中部いきいきサロン」、 NPO 法人夢未来くんま、
くんまの明日を考える会、他 作品制作のスケジュールで調整できるようあらかじめ

お声がけして短い作品制作のスケジュールですが調整して出来るだけ多くの方達に参加していただく予定

また、市内外に内藤さんの生徒さんも多数おり浜松で開催している教室でも声かけして20名ぐらい日替わりでボランティアを募る予定です。

対象者は県内外の子供達からお年寄りまで。特に華道、茶道、草花愛好家、美術館やアートに興味のある方など。広報はSNS、チラシ、新聞、雑誌などで行う。

感染症対策について

地域外の方とのコミュニケーションも懸念される世の中
感染対策としてアルコールの設置や検温などはもちろん
チケット販売制のイベントにしておりますので、参加者や内覧者リストを作成し
連絡が取れるようにしています。

◆準備期間のイメージ



室内外でそれぞれが
黙々と手を動かす

先生のイメージを
私達一人一人が形にしていく

休憩タイムも
世間話の大切な時間



自然の中から採取した植物を室内に再現



イベントのトレンドマークの

赤い風車は

毎回300本ほどみんなで手作りして

笹の枝にくくりつけます



竹・松ぼっくり・かぼちゃ
稲や菊の花
何だって画になります



- 2022/ 3月 地区への説明と出店者募集

- 4/1 会場（青山宅 利修庵、田中宅 鍵の預かり）
- 4/2・3 団体ボランティアスタッフによる搬入・清掃・スケジュール確認などミーティング
- 4/4～7 地元住民を含め 準備・制作期間

- 4月8日(金) ・ インスタレーション開催(10時～18時)
 - ・ カフェ、ミニマルシェをお楽しみいただけます
 - ・ 海洋冒険家“鈴木克典”山と海が繋がるトークショー(14時～)
 - ・ 春野在住 ピアニストによる演奏(15時半頃)

- 4月9日(土) ・ インスタレーション開催(10時～20時) ※18時～20時 ライトアップ
 - ・ カフェ、ミニマルシェ
 - ・ ミュージックライブ 市内ミュージシャン“ハマサ ピエンス”など(15時～16時半)

- 4月10日(日) ・ インスタレーション開催(10時～16時半)
 - ・ カフェ、ミニマルシェ
 - ・ 市内活動 能楽愛好家の素謡披露
 - ・ 創作舞踏のパフォーマンス “倉知可英”(15時～16時)

- 10日 16時半 より撤収
 - 許可が下りれば風車他作品の一部は道の駅に展示 期間を決めて後日回収

- 今年度のメインは 4/8～10の3日間の展示ですが、交流を閉ざさないためにも単発のワークショップを開催予定。
- ※ 例えば 正月飾り作り、山野草を使ったお茶会、古布、和紙を使った創作、お茶、お花の楽しみ方などを参加・体験しながら皆で経験する会を行っているので夏の7月頃には、カゴに和紙を貼り補強して使う「一閑張り」を行ったり冬の11月頃には、「クリスマスリースや、正月飾りを作る会」を開催予定

正月飾りは地元の稲藁で縄をナウところから、
水引で小物飾りを作ったり、1つ1つの材料の由来や意味を学びながら
みんなで一緒に制作する会は毎年各地で人気です。

今回の売りは インスタレーションと現代舞踊がメイン となります。



2018年に開催した旧 門谷小学校(愛知県新城市)福島のお母さんと子供たちの応援プロジェクト 芸術祭の様子

内藤満里子 <プロフィール>

鳥取県生まれ、愛知県高浜市在住 10才より生け花を始める 華道家、茶道家

古民家空間フラワーアーティスト

和の暮らし歳時記教室、茶道教室

愛知短期大学客員講師

1989年Mariko Style 花教室開講

福島のお母さん子供たちの応援プロジェクト主催

2015年和の暮らし歳時記 教室開講

2005年～故郷の鳥取県他、各地でインスタレーションを開催



作品の制作者内藤満里子は愛知県を拠点に消えゆく古民家を舞台に、日本人としてのアイデンティティと和の暮らしの文化を見直す事を目的に 2005年より日本各地で開催されております。

展示会は、毎回違った場所で新しい芸術作品が生まれ出されます。まさしく一期一会で、二度と同じ展示会には巡り会えない。その展示会に一度でも訪れたなら、彼女が繰り広げる日本の美しさに心が打たれることでしょう。

近年では愛知県はもとより 静岡、鳥取でも開催されており、

本年度は宮城県 大森町阿武隈鉄道からのオファーも来ています。県内外から彼女の生徒やファンの来場

今回の古民家インスタレーションの目的は、アートによる交流入口の増加と「ありのままの自然風景・歴史文化遺産」の魅力が地区内外に情報発信することで、天竜区・熊の認知度を更に高める事が目的です。

◆美しい日本を みつけにきてください 「美しい 日本家屋や庭に身を置き、そこにある空気や、あるものを体験することで思考が始まります。そして内面にある我が心の本質に気がつきます。こんな時だからこそいのちのことを、考える時間が必要だと思います。地域の方々や仲間たちと一緒に作りあげる空間への植物たちの作品をみなさんに見て頂きたいのです。ー内藤 満里子ー

最終日

現代舞踊家を招きコンテンポラリーダンスを披露
フランスで8年、世界20カ国以上で講演した経験は
敢えて日本の女性として 表現が際立つ。
世界的な舞踏家のダンスを是非見て頂きたいです。



◆倉知可英 プロフィール

[コンテンポラリーダンサー]

6歳より、奥田敏子舞踊研究所入所。石井みどり、折田克子、倉知外子に師事。

1998年、愛知県の助成を受け、ジャン=クロード・ガロット主宰 グルノーブル国立振付センターで2年間研修し、その後同カンパニーのメンバーとして在籍し、フランス国内や約20カ国のツアーに参加。

2006年夏に 帰国後、自主公演《DANCE YARD》 《KAYAKU NIGHT》、児玉たまみとの共同企画《光の記憶》 (あいちトリエンナーレ2010・2013祝祭ウィーク 参加)を開催。2015年より、スタジオを拠点とするカンパニー「seeds dance company」を結成し、名古屋を中心に活動

する若手振付家・ダンサーのための作品発表の場として「NAGOYA DANCE SCENE」をスタートさせる。その他、音楽家や歌人とのコラボレーションなど、名古屋、東京、パリなどでダンサー・振付家として活動する傍ら後進の指導にあたる。

2019年9月23日には、

「あいちトリエンナーレ 2019舞台芸術公募プログラム」
に企画が採用され、コンサートホールにて公演

平成24年度名古屋市芸術奨励賞受賞。

名古屋市民芸術祭2014, 2018特別賞受賞。

studio K.K.nagoya/seeds dance company主宰。

www.omdac-studioinfini.com www.kayakuproject.com



「みんなで古代の丸木舟を作って 開乗してみよう!2021」で制作した樹齢120年の天竜杉を子供達と一から削った丸木舟を会場に設置していただく予定です。過酷な冒険の話、太古の人々と“山と海”が繋がる興味深い話が聞けそうです。



- ◆ 鈴木克典プロフィール
 - ・日本一周1200日間連続の手漕ぎソロキャンプ
 - ・氷河からのガンジスカヌー旅
 - ・台湾 から沖縄へと丸木舟での渡海経験等を待つ
 - ・浜名湖シーカヤックツアーズ代表
 - ・国立科学博物館主催
 - ・伊豆ユネスコクラブ顧問
- 3万年前の航海徹底再現プロジェクト 全漕ぎ手



並行して

地元ミュージシャンによるミニライブや、内外からの出店のミニマルシェも開催します。

飲食ブースに手作り雑貨やお茶の販売などを予定しています。

道の駅の美味しい蕎麦と農産物・特産物の販売も相まって来場者に喜んで頂きます。道の駅では、丹精込めて育てた農産物や特産品、土産物を楽しんで頂けることでしょう。

外からの方にとっては、くんまの豊かな農産物や特産品他を購入することができるほか、くんまの「ありのままの暮らしと自然風景」に感動されるかもしれません。何より来訪者・地区住民など多くの方々に楽しんでいただき、交流が深まり、地域づくりのきっかけを地域の皆さんに提供できれば、私共としてはこれ以上の喜びはありません。コミュニティーの再生、地域の再生へお役に立てれば幸いです。

事業効果（別紙 3）

中山間地域からの芸術イベントの発信を行うことで、都市部から山間部、農村部への交流人口、移住人口が増加することが期待される。

地元の方々と作品製作を行い協力していただくことで、他人の作品がわたしたちの作品に変わります。それ以前に実際に自分の手に聞き考え動かす行為は、想像力や生きる力につながると思います。テレビや本では伝わらない、本物を見る事の大切さリアルな芸術達に触れる機会が少ない昨今、今回のイベントの重要なポイントになります。

外部からの新しい風をとりこみ、共に作品を作り上げ、地域の方・場・植物・自然を活かし、空間演出を行うことで、新たな地元の美しさ・日本の価値を再認識、区民意識の啓発に繋げ、個々に地域の魅力を発信できる人材が育つ要因になる。

長期ビジョンとしては行政、企業、教育機関などと連携し、安心してそれぞれは自分らしく暮らす地域づくりにつながって行くことが期待される。

収支内訳 報酬費（別紙 4）

○特別講師謝礼

（内藤：愛知県高浜より車） 12万×1名 + 3万×2回

（4/1～10の移動と、夏・冬2回のワークショップ開催）

○講師謝礼

（鈴木克：市内より丸木舟移動こみ） 5万 ×1名

○演奏者謝礼

(市内外より10名予定) 5万 × 1組

(市外より5名予定) 3万 × 1組

○演舞者(倉知)謝礼(県外より) 5万 × 2名 (都内などの移動を考慮し、感染症対策のPCR検査など)

○音響スタッフ(3日間) 3万 × 1名 (器材持ち込み)

○撮影担当(3日間) 3万 × 1名 (準備期間の撮影も入るかも)

最後に・・・

◆小さな活動でもたくさんの人を呼ぶことができる

その実績が地域の人の自信につながる。

日本の田舎の原風景を残し、ありのままの地域資源の価値転換を図れば心豊かに暮らせるはずです。

しかし過疎化が深刻に進んでいる状況は否せません。

魅力を掘り起こし、アピールし、希望を持って地域の皆さんと一緒に工夫していけば、

必ず地域の皆さんの地域への誇り高めて、地域がより光り始め元気になるはずです。

今回のプロジェクトをきっかけに、くまのことを知っている人が増え、

外部との交流が進めば、地域を訪れる人も今まで以上に増えると思いますし、

地域の皆さんの郷土愛を更に深める事に繋がると思います。

新たなる切り口で、若い世代との交流と大切なご縁が重なり、

小さな活動でもやり方次第でたくさんの人を呼ぶことができるという実績を積み上げることは、

地元の方々にとっても自信につながる事ではと感じています。

その先に移住者を増やすことにつながって行くと考えます。

そして廃止された路線バスの復活、新たな商店の出店など生活環境の向上につなげて行きたいです。

昨今のアウトドアブームなど中途半端ではない田舎だからこそ

大きなチャンスが間違えなく巡ってきています!

継続した活動として、内藤満里子氏の「和の暮らし歳時記教室」や

山の暮らしならではの各種ワークショップも開催予定です。

焼杉製作(三角焼き)/竹炭ワークショップ

アウトドアクッキング教室などを予定しております。



主催者 佐藤利明プロフィール

1965年生まれ 静岡県新居出身 浜松市在住 ナチュラルフレンチを掲げるビストロヒルマンのオーナーシェフ

身も心も元気になる料理で日々、人々に感動と健康を与えている。

遊びの達人で多趣味。

芸術全般、能楽、オートバイ、カヤック、サーフィン、キャンプ、骨董、カメラ、中国茶、葉巻..

◆「被災地に温かい食事を届ける活動」委員長 東日本大震災ではいち早く行動し炊き出しに出向く、佐藤個人で1万食以上チームで約3万食の食事を提供し 現在も被災地との交流を続けている。

◆「ヤマハ発動機ウェブサイト」(食材探しツアーリング)ナビゲーター

◆浜名湖2&4スワップミート実行委員長 15年続く 日本最大級のバイクと車のフリーマーケット 仕掛け人。1,000人程の来場がある

◆著書 (おひさまキッチン ビストロシェフのアウトドアレシピ) 出版 などなど